

平素より当院地域医療連携にご支援を賜りまして誠にありがとうございます。  
今回は耳鳴りについてお話しをさせていただきます。  
耳鳴りと聞くと、耳鼻咽喉科での治療を想像される方が多いと思いますが  
今回は脳神経外科にて治療をおこなっている【**拍動性耳鳴り**】について詳しく  
説明していきたいと思ひます。



脳神経外科 副部長  
兼 脳卒中センター長  
伊藤 圭佑

### 【拍動性耳鳴り】とは？

心臓の鼓動に一致した「シュツ、シュツ」という耳鳴りです。  
片側性である事が多いですが、両側で感じられる場合もあります。  
耳鳴りが聞こえる部分(耳の後ろなど)に聴診器をあてると、音が聴取できる場合があります。  
その場合には「**硬膜動静脈瘻**」である可能性が非常に高いと思われまひます。

### 【硬膜動静脈瘻】(Dural arteriovenous fistula)とは？

脳・脊髄を覆う硬膜上で、動脈と静脈が毛細血管を介さず直接つながってしまった状態(シャント)を  
言ひます。

圧の高い動脈血が直接静脈へ滲流するために静脈の圧が上がり、重度の場合には脳の滲流障害を呈し、  
痙攣や脳梗塞、脳出血の原因となります。

シャント部位により呈する症状は様々ですが、**比較的初期の段階では拍動性耳鳴りや頭痛を自覚され、  
静脈圧の上昇に伴い、うっ血乳頭(視力障害)や眼瞼浮腫などの目の症状、脳滲流障害による脳の症状で  
気付かれる場合があります。**

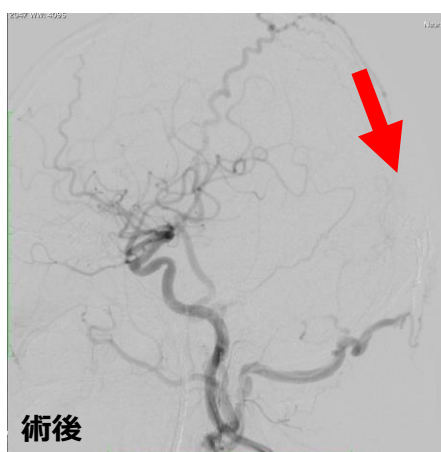
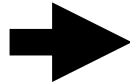
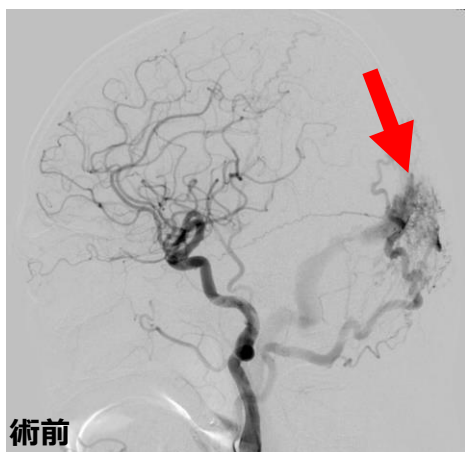
先天的なものもありますが、多くは後天的で外傷や炎症、血管閉塞が原因と言われまひますが、原因  
不明の場合も多くあります。

病態は進行性である事も多く、症状も徐々に悪化・進行する場合があります。

**治療は血管内治療・放射線治療・手術**があり、シャント部位や血行動態により治療法を選択しますが  
多くは血管内治療が第一選択となります。

また、初期の段階で症状も軽度であれば、経過観察となる場合もあります。

近年Onyx(液体塞栓物質)が硬膜動静脈瘻に対する治療として保険償還され、**これまで治療困難であった  
患者さまも効果的に治療できる場合が増えていまひます。**



数年前からの拍動性の  
耳鳴り及び慢性頭痛を  
自覚。  
数ヶ月前から視力障害  
を呈し、眼科よりうっ血  
乳頭を指摘され、当科へ  
紹介。  
血管内治療によりシャント  
の著明な減弱を得て耳鳴り  
頭痛・うっ血乳頭は改善

血管内治療の低侵襲性により、**術翌日には病棟内で独歩可能、入院期間も4、5日程度となります。**  
この治療に関しては術後の内服薬の追加なども必要なく、先生方の元へお戻りいただくことが可能です。  
当科では再発の有無に関して、定期的な画像(MRI)のフォローをさせていただきます。

もし疑わしい患者さまがいっらしやいまひましたら、まずはお気軽にご相談ください。

ご予約・お問い合わせ先／一宮西病院 地域連携室

TEL : 0586-48-0022 FAX : 0586-48-0053

(平日/AM8:30~PM 7:00 土曜/AM8:30~PM12:00 日・祝・年末年始は休み)